**[第71回 日本衛生動物学会大会](http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/eido69/index.html)**

**和文演題名**和文発表者名（和文所属）共同発表の場合、発表者氏名に〇
英文演題名
英文発表者名（英文所属）共同発表の場合、発表者氏名に〇
（一行あける）
本文（日本語か英語、日本語800字以内、英語400ワード以内）
キーワード（日本語か英語で5つ以内）
（一行あける）
①参加者氏名（ふりがな）　②所属　③連絡先住所　④電話番号　⑤メールアドレス
---------------------------------------------------------------

E-mailでの申し込み

作成した講演要旨のファイルを大会事務局（eido71@yamaguchi-u.ac.jp）あて、電子メールの添付書類としてお送りください。 その際メールの本文に、①参加者氏名（ふりがな）②所属　③連絡先住所　④電話番号　⑤メールアドレスをご記入ください。
送付後３日以内に大会事務局からの受領メールが無い場合には、大会事務局（083-933-5855あるいはa-takano@yamaguchi-u.ac.jp：高野）にお問い合わせください。
申込締切：2019年1月31日（木）必着

郵送での申し込み

作成した講演要旨をCD-Rに保存し、A4版に印刷した要旨、および　①参加者氏名（ふりがな）②所属　③連絡先住所　④電話番号　⑤メールアドレスを記入したA4用紙と一緒に下記大会事務局（山口大学）へ、簡易書留としてお送りください。

送付先：〒753-8515　山口県山口市吉田1677-1
山口大学共同獣医学部病態制御学講座獣医微生物学研究室
第71回日本衛生動物学会大会事務局
事務局長　　高　野　　愛

申込締切：2019年1月31日（木）必着

**新興回帰熱病原体*Borrelia miyamotoi*の病原性関連因子の検索**

○中尾蘭那1，川端寛樹2，林　哲也3，小椋義俊3，下田　宙1，高野　愛1，前田　健1（1山口大学共同獣医学部，2国立感染症研究所，3九州大学医学部）

The exploration of virulence factor on emerging infections pathogen, *Borrelia miyamotoi*

○ Ranna Nakao 1, Hiroki Kawabata 2, Tetsuya Hayashi 3, Yoshitoshi Ogura 3,Hiroshi Shimoda 1 , Ai Takano 1 , Ken Maeda 1 (1 Joint Faculty of Veterinary Medicine, Yamaguchi University, 2 National Institute of Infectious Diseases, 3 Kyushu University)

マダニによって媒介されるボレリア属細菌は、ライム病と回帰熱の２種類の感染症をヒトに引き起こす。*Borrelia miyamotoi*は、1995年に我が国で発見された回帰熱群ボレリアであり、2011年ロシアで新興回帰熱の起因菌として新たに同定された。その後米国、欧州、アジア等で患者が報告されてきた。本菌は分離が非常に難しく、その病原性解析はほとんど行われていない。

我々は、日本国内で分離したマダニ由来株MYK1株がマウスにおいて一過性の菌血症を引き起こすこと、そのクローン化株ではマウスへの病原性が低下することを明らかにしてきた。さらに、MYK1株をマウスに接種し、脳より再分離したM1-2Br株のクローン化株についてはマウスへの病原性が維持されることが明らかとなった。

そこで本研究では、MYK1株G3クローン（マウス非病原性）とM1-2Br株H4クローン（マウス病原性）について次世代シーケンサーを用いたゲノム解析を行い、病原性関連因子の検索を行っている。

その結果、染色体上にはほとんど変異が蓄積していない事、少なくとも２カ所はプラスミド上に差異が認められる他、プラスミド自体の欠失も認められた。現在、病原性因子の解明に向け、欠失の有無の確認やプラスミドの特定を行っている。

キーワード：*Borrelia miyamotoi*、マダニ, ゲノム解析

1. 参加者氏名　中尾　蘭那（なかお　らんな）
2. 所属　山口大学共同獣医学部
3. 連絡先住所　山口県山口市吉田1677-1山口大学共同獣医学部
4. 電話番号　083-933-5855（研究室直通）
5. メールアドレス　XXXXXX@XXXXXXXXXX.ac.jp (申込者)